

(様式1)

自己評価票

作成日 平成21年12月21日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900385		
法人名	社会福祉法人 聖隷会		
事業所名	グループホーム 千代田の里	ユニット名	ふきのとう
所在地	〒315-0072 茨城県かすみがうら市東野寺495-1		
自己評価作成日	平成21年12月20日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	
-----------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

都市化の進行と、自然豊かな環境とを併せ持つ地域の中で、開設以来7年以上が過ぎ地域の方々に認識されて来ております。入所されている、ご家族の皆様にも喜んで頂いている事が励みになっております。法人傘下には、特別予後老人ホームも多数あり、希望に応じてのサービスを提供できるようになっておりますし、グループホームも多数あり、お互いに切磋琢磨しサービスの向上を目指しております。関連施設には医療法人もあり、医療に対する相談指導を、いつでも受けられる体制にもなっております。特に精神医療の専門医がいますので、専門的な医療相談が受けられます。隣接地には医療法人の介護老人保健施設や保育園があります。特に保育園とは定期的に交流が図れるようになっており、お年寄りと園児が和気藹々と過ごせる事は、まさに家庭の延長のようです。職員の定着率・学習意欲も高く献身的に介護に努めております。市内には数多くのグループホームが存在していますが、どの様な入所希望者にも、気軽に立ちよれ、希望が叶えられる施設にしていきたいと考えております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム内の誰デモが見える場所に、基本理念を掲示するとともに、朝礼で復唱し共有している。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接する保育園の園児と、月に2回の交流をし、小学校の運動会や文化祭、市の敬老会や地域のお祭りにも参加している。ホームの行事に地域の人々の参加を呼びかけたり、日曜日には道路の清掃活動を行うなど、積極的に地域の方々と交流をしている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や介護相談委員を通して、地域の方々の理解を頂きつつあります。介護相談や災害等の支援など事業所として出来る範囲で貢献していきます。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、入所者様の代表、入所者様ご家族の代表、市の職員、民生委員、学識経験者、施設職員で開催している。入所者の生活状況や行事の報告をし、委員の方々からもご意見を頂き、サービス向上に役立っている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	外部評価の報告を行うとともに、運営に関する相談や助言を得たり、随時に情報交換を行っている。又月に1回の介護相談を頂いている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	緊急やむをえない場合を除き、身体の拘束や行動の制限を禁止しております。玄関、サッシ等の施錠をせず、いつでも出入りが出来るようにしている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に人権擁護を基本に、全職員で虐待防止に努めております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	管理者で権利擁護に関する勉強会を行いません。市役所等から情報を頂きながら、権利等が守られるよう対応して参ります。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用時に文書及び口頭で説明し、納得の上に契約していただいております。又解約等のさいは、今後のサービスの利用法などを紹介し家族が納得のいく将来が築けるよう協力しています。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談担当と相談窓口や第三者委員や外部苦情申し立て機関を設けている。ご家族等の声を大切にしながら、語彙検討の出せる雰囲気づくりに努めている。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議やユニット会議等により意見交換を通し、提案された意見を検討し運営に役立てています。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	就業規則、給与規定により就業環境の整備に努め、働きやすい職場づくりに努力しております。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内には、研修委員会が設置されており、それぞれの段階に応じた研修を受講しております。施設内においても随時勉強会を開催し、相互に研鑽に努めております。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	県の地域密着型介護サービス協議会に加入し、県南ブロックにおいては、2～3ヶ月ごとに開催される研修会等に参加し、更にグループホーム研究大会にも参加し、交流や意見交換に努めております。法人内には、多種の関連施設があり、研修会や情報交換の機会があります。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に、施設の見学をして頂く事や、自宅や病院等の施設で本人やご家族と面談し、現状や困りごと等の把握に努めております。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の気持ちを思いやり、これまでの介護に労をねぎらい、利用前の面接に望みます。現状や困りごとの把握に努め、利用者と一緒に施設見学をして頂き不安解消を取り除く機会を設けております。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談があれば、利用前面接時にここで良いのか、他のサービスはなどを伺い、他のサービスが必要と判断された場合は、他につなぐように努めております。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、日々の生活の中で利用者から、過去の経験や習慣などを学ぶ事が多であります。利用者の方も慶んで過去の経験等をお話してくれ、信頼関係が構築できております。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日常の様子は、里便りを通じ、又必要に応じ電話等で連絡しております。面会時等に置きましても近況をお伝えしております。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	面会・外出・外泊等も出来るだけ自由にし、良好な関係が出来るように努めております。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、個別なかわりを見守りそして支援し、孤立化しないように介護しております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後、病院等に入所されても施設を訪問し、相談に乗るなどの支援をしております。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者や家族、関係者から利用にいたる経過等から把握し、ケアプランに取り入れる。困難な場合は家族や職員が、本人がどう思っているのかを利用者本位で考えている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に事前調査をし、これまでの生活歴等から把握している。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人らしく生活して頂く事を基本にして、アセスメントシートの作成により、心身の状況を記録し現状の把握に努めている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月会議を開催し、利用者・家族の意向や職員の考えを踏まえて現状に即した介護計画を作成している。作成した介護計画は、家族にも説明し同意を頂いております。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	アセスメントシート、ケース記録は各人ごとにファイリングしております。その他申し送りノートを作成し、情報を共有化し介護に生かしております。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その人らしく生活していただくが基本です。法人傘下の事業所が多く、それらの支援もいただけますので、柔軟なサービスが提供できていると考えております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議や、行政による介護相談委員との情報交換により、地域資源を把握しています。行政(福祉・消防)等との行き来も多くなり地域資源の活用に努めております。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族の希望に対応した、医療が継続出来るようにしております。又、歯科や眼科が希望により訪問往診できる体制にもなっております。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけの病院・協力病院及び法人傘下事業所の看護師と連携し相談をしたり知識を習得し、日々の健康管理に努めながら、受診や処置の支援を頂いております。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、日々の生活状況を説明し、入院中は、まめに様子を見に行き、医療機関より情報の提供を受けています。家族への病状説明時には同席させていただき、治療方針の共有と退院後の処し方についても指導を頂いております。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期の処し方は、家族等の意志を確認し、医療機関とともに取り組んでおります。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人において、上級救命講習会を全職員が受講し、救命技能を有する事が認定されております。AEDの設置もあり、マニュアルを活用し研鑽に努めております。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消火訓練を年2回、消防署のご指導の下で開催しております。又毎月避難・誘導訓練を実施しております。地域の皆様の協力が得られるように消防団への協力依頼をしております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライバシーに配慮してやさしく接するようにしております。個人情報の取り扱いは、個人情報に関する指針に沿って、家族の同意の下で、記録等は保管しております。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に本人の言葉を傾聴し、利用者に分かるような話し方をし、本人の思いが叶う様に支援しています。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースで、生活できるような希望に沿った支援をしている。又本人のやりたい事を出来るだけやれるようにしています。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者本人の希望な服装や、似合った服を着ていただいたり、その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように支援しております。希望に応じて理容も可能になっております
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や配膳は職員が行いますが、後片付け等は職員と一緒にしております。食事は同じテーブルで、職員も一緒に会話をしながら食べております。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立等は、委託した栄養士により管理されております。医師の指示や、本人の希望も摂り入れた、個々に合わせた形態になっております。摂取量はアセスメントシートに記録しております。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で出来るように見守りながら、口腔ケアを促しております。出来ない方や不十分な方は介助しております。入れ歯は每晚洗浄しております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録簿やアセスメントシートを活用し、個々の状況把握により、羞恥心に配慮した声掛けや介助を行っております。オムツを利用してもトイレ利用を促し、トイレでの排泄の自立に向けた支援しております。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水不足や運動不足にならない配慮とマッサージをするように促しております。便秘が続くような場合は、医師の指導による下剤の服用など、個々に応じた予防に心がけております。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの体調や希望に応じた、入浴の支援をしています。入浴記録表を活用し入浴拒否者への対応や、体調不良時の清拭等個別に対応しております。入浴剤の活用により気持ち酔う入浴に心がけております。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の馴染みの家具や物品を使用して頂く事と、家族の写真など好みの物を掲示する等、日常的に安定した穏やかな心身状態方が保たれるような環境に配慮しております。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報は、職員が理解しております。配薬ミスが無いように細心の注意を図りながらの対応をしております。服薬後の確認は職員2人で行っております。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴の参考と、能力を活かした役割などで日常生活が楽しめるようにしております。日々のクラブ活動カラオケ・習字などは自分の趣味を活かして楽しく過ごせるようにしております。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、散歩をするなど外気浴をしております。またドライブや花見、地域のお祭りなど、その時節に合わせた行事に参加しております。毎月の棟行事も野外に出るようにはしております。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望に応じて、一緒に買物したり、買物時に渡すなどで対応しております。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話や手紙はいつでも利用できます。自らが利用できない方は、職員が日頃の状況を職員が伝えております。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リビング兼食堂の大きな窓から、隣接する保育園の園庭で、園児が遊ぶ姿や歌声が聞こえる環境にあり、又、花壇には季節ごとの草花が植栽されております。ゆったりとしたリビングに、写真や利用者のクラブ活動の作品が展示され、和やかな空間をつくるようにしております。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>日当たりが良く、外の風景が見え園児達の遊ぶ姿が見え舞う。又利用者に不快な音や陽の光はカーテンで調整しています。個室やテレビ・ソファのあるリビングは自由に使えるように配慮しております。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者や家族と相談をし、馴染みの物を置く等して安心して生活が出来るようにしております。その人らしい居室造りに心がけております。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホーム内は、バリアフリーで各所に手すりが設置されております。又利用者一人ひとりが自立した生活が出来るよう支援しております。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない